

オオナギナタバチ

Megaxyela togashii

兵庫県：要調査

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長12～14mm。体色は緑黒色。翅は透明で、淡褐色をおびる。前・中脚は褐色、後脚は大部分黒色。触角第3節は極端に長い。頭盾の前縁部は中央部で鋭角状に突出する。後脚脛節に6本の距がある。成虫は5～6月頃に出現する。幼虫はオニグルミの葉を食べる。



写真提供：内藤親彦

国内分布

本州

県内分布記録

宍粟市、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		○



特記事項

新規追加種

青森、石川、兵庫、岡山、広島、山口、愛媛の各県で記録されているが、採集個体は極めて少ない。県内では波賀町(1986) (現宍粟市) と佐用町(1995)から採集されているが、近年の記録はない。

保護上の留意点